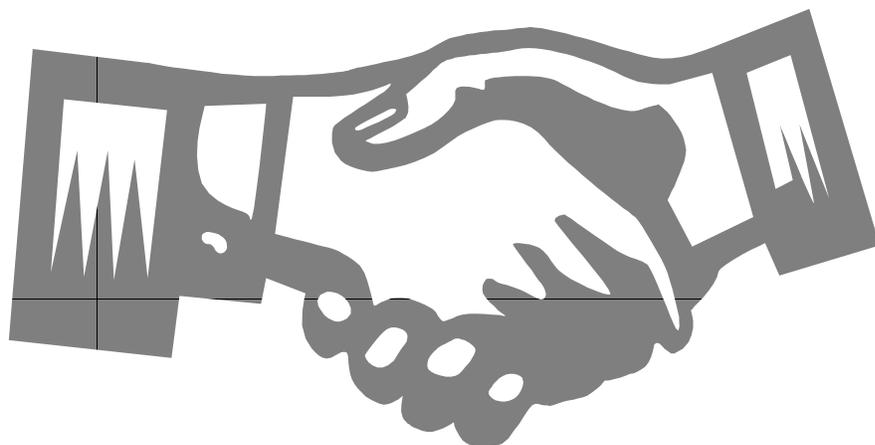


図書館は、「情報の力」で最大限の支援を行います



被災地の皆さんの調べものや質問は
「だれでも・どこでも Q&A 図書館」が無料で引き受けます

東日本大震災で被災した文化施設は数知れず、図書館では 書架の倒壊、資料の落下、施設の破壊や消失など、これまで想像もできなかった非常事態に直面しています。

そこで、「だれでも・どこでも Q & A 図書館」では、被災した図書館に代わり、皆さんの疑問にお答えします。日々の生活での疑問・質問のほか、店舗復旧のために必要な情報や学術分野に関する情報など、日本中のレファレンサー（情報のプロ）がインターネットの向こう側で一致協力し、皆さんからの依頼を調査し回答します。どうぞお気軽にお申し込みください。

<http://savemlak.jp/wiki/daredoko>

調査依頼は上記 URL の Web サイトからお申し込みください

「だれでも・どこでも Q&A 図書館」

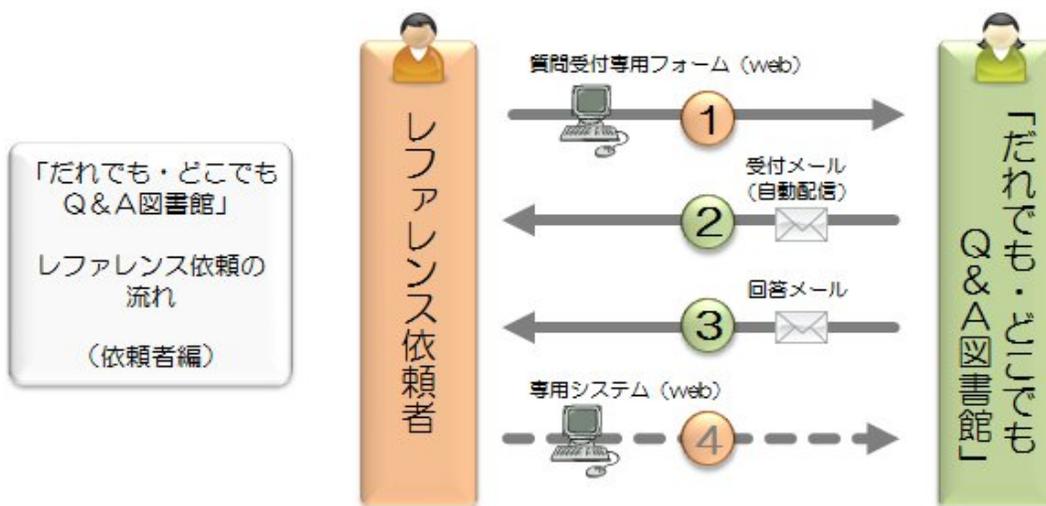
～史上最大のレファレンスサービス～

ご質問・お問い合わせは、daredokoqa@gmail.com へ

発起人：国立国会図書館レファレンス協同データベース サポーター有志

その質問、代わりに答えます！ 「だれでも・どこでも Q&A図書館」

～ 史上最大のレファレンスサービス～



- 1 レファレンス依頼専用フォームから質問を登録します。
- 2 登録されたメールアドレス宛てにメールが自動送信されます。(返信不要)
メールには、受付番号と専用システムのURL・パスワードが記載されています。
- 3 「だれでも・どこでも Q&A図書館」からの回答が登録されたメールアドレス宛てに送信されます。
- 4 【任意】
回答内容に関する追加質問などがある場合は、専用システムから返信を行います。
(内容により、「だれでも・どこでも Q&A図書館」から追加の回答を行います。)

図書館員の皆さまへ

「だれでも・どこでも Q&A 図書館」では、被災地図書館からのレファレンス依頼も受け付けています。また、「ご協力いただける皆さま“回答団”」や、レファレンス回答だけでなく事務局へご協力いただける方も募集しています。

できることから、分かるところからで構いません。

図書館に属していない方もご協力ください。

次のサイトにプロジェクトの詳細を順次掲載していきます。“回答団”へのご登録をおねがいします！

「だれでも・どこでも Q & A 図書館」

<http://savemlak.jp/wiki/daredoko>

だれでも・どこでも Q&A 図書館は、saveMLAK・博物館・美術館、図書館、文書館、公民館 (MLAK) の被災・救援サイト (<http://savemlak.jp/>) 上で運営しています。



賛同者(五十音順): レファレンス協同データベースサポーター有志: 江草由佳(国立教育政策研究所)、岡本真(アカデミック・リソース・ガイド株式会社)、進藤つばら(東京都立中央図書館)、高久雅生(物質・材料研究機構)、林賢紀(農林水産研究情報総合センター)、宮川陽子(福井県立図書館) レファレンス協同データベース企画協力員: 齊藤誠一(千葉経済大学短期大学部ビジネスライフ学科准教授) その他: 井上昌彦(関西学院 聖和短期大学図書館)、高辻亜由美(奈良県立図書館情報館)、豊田高広(田原市図書館) 協力: OCLC Inc.、saveMLAK 博物館・美術館、図書館、文書館、公民館(MLAK)の被災・救援情報サイト、(株)紀伊國屋書店